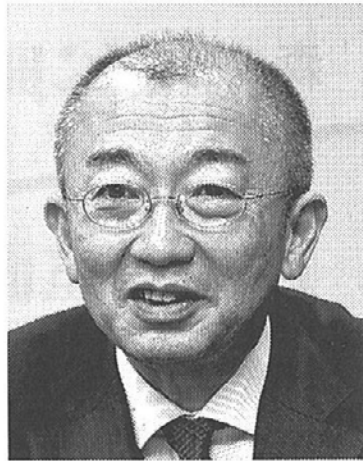


【オリエンタルコンサルタンツホールディングス 野崎 秀則社長
次代を拓く 建設コンサル 人材確保・育成に積極投資】

次代を拓く



インフラ整備・保全や防災、交通、地方創生、海外がターゲットの重点化事業に注力し収益のさらなる拡大を狙う。2019年10～12月期を終えたが、既に受注と売上高、利

建設コンサル

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

野崎 秀則社長

人材確保・育成に積極投資

益が前期を上回る見通しだ。25年9月期が対象の中期経営計画で目標とする連結ベースの売上高700億円、営業利益30億円の達成を急ぐ。売上高の4%程度を重点化事業や人材確保・育成のための設備投資として毎年度計上する。

益が前期を上回る見通しだ。25年9月期が対象の中期経営計画で目標とする連結ベースの売上高700億円、営業利益30億円の達成を急ぐ。売上高の4%程度を重点化事業や人材確保・育成のための設備投資として毎年度計上する。

業務効率の改善と品質向上の両立を目指し、ICT（情報通信技術）を積極的に活用する。人工知能（AI）をベ

解決に貢献する。PFI/PPPを通じた地方創生事業では、太陽光や小水力発電などのエネルギー関連を軸にした街づくりも注力する。

東南アジアを中心に大型鉄道プロジェクトで受注を積み上げる。発注量のピークが予想される2年先以降を見据え水資源やエネルギー関連など政府開発援助（ODA）案件以外の市場開拓を進める。昨年9月に立ち上げたパナマの現地法人を核に、中南米地域の事業拡大にも力を入れる。

歌山県の南紀白浜空港周辺で自動運転サービスを展開する。地域が抱える交通課題の